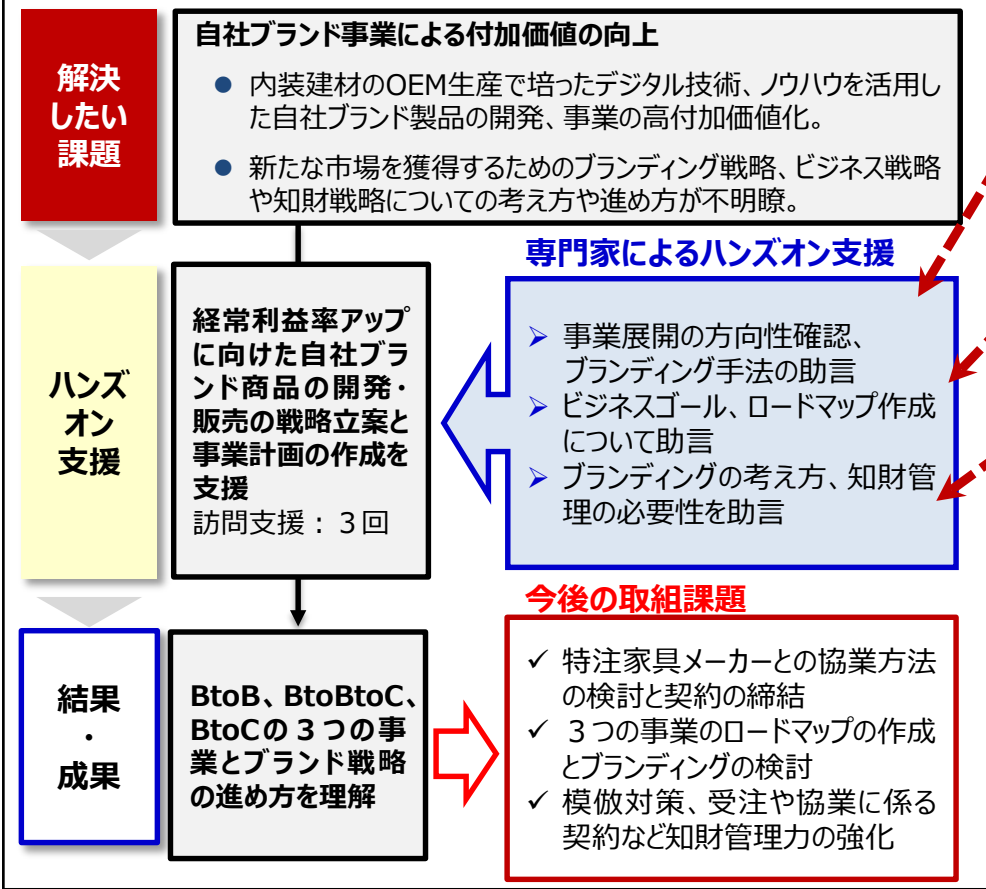


事例4：豊桑産業株式会社（デジタル技術を活用した自社ブランド事業の創出）

新事業創出

ブランディング強化

■ 知的財産経営実践の概要



■ 取組の詳細

- スマートファクトリー化による注文から生産、加工まで短納期で注文に対応できるという強みを活かして、作り付け家具などのオーダー家具事業を自社ブランドで展開するという新事業の方向性を確認。
- ビジョン経営、受注までのストーリーづくり、リピートストーリーの設定、ブランディングにおける知財活用、新事業展開における協業先との調整、商標取得等について助言と議論を実施。ロードマップの作成について説明。
- 3つの事業のロードマップとペルソナの設定、3つの事業毎に顧客の視点でのブランド名の付与、商標・特許取得による他社の模倣阻止等について助言、議論。自社の事業を守るために受注契約、職務発明規定、秘密保持契約など知財に関する管理力を強化することについて助言。



■ 企業の声

自社ブランド商品の開発・販売戦略を検討していたが、これまで全く考えていなかった有用な助言を専門家からいただき、事業のロードマップとブランディングについての取り組み方針が明確になった。知財については、これまでほとんど意識していなかったが、自社事業を守るために商標、特許、ノウハウ、営業秘密等を総合的に管理することが必要であることを理解できた。

■ 企業概要

業種	製造業（木質内装建材の製造）				
住所	岐阜県各務原市	URL	https://hosojapan.co.jp/		
創業	1938年	従業員数	79人	資本金	3,000万円

■ 支援専門家（回数）

支援コーディネータ (3)
 中小企業診断士
 同行専門家 (2)
 ブランド専門家